

学習指導要領		調布北高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代の政治</p>	<p>現代の日本の政治及び国際政治の動向について関心を高め、基本的人権と議会制民主主義を尊重し擁護することの意義を理解させるとともに、民主政治の本質について把握させ、政治についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民主権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会契約説の内容について、絶対王政や市民革命と関連付けて理解し、その影響などを説明できる。ロックやルソーの思想が、各種の人権宣言や我が国の憲法などにも大きな影響を与えたことを説明できる。 ・基本的人権が確立する歴史的経緯を理解し、適切に説明できる。また、日本国憲法で保障されている基本的人権について、自らの生活と関連させながら説明できる。 ・民主主義が確立する歴史手経緯を理解し、適切に説明できる。また、大衆民主主義がファシズムを生んだ反省から、多様な意見を尊重し異議申し立てができる制度の必要性を説明できる。 ・我が国の選挙制度を諸外国と比較しながら理解するとともに、国民審査や国民投票など、選挙以外の政治参加の仕組みについても説明できる。 ・我が国の平和主義をめぐる憲法解釈について、最高裁の判例などに基づいて理解を深めるとともに、我が国の安全と世界の平和の維持が不可分であることを現代の世界の状況を踏まえて説明できる。 ・大日本帝国憲法と日本国憲法とを比較して、我が国における天皇の地位と役割がどのように変化したのか、国民主権との関連を踏まえて説明できる。 ・議会制民主主義に基づく日本の政治機構について、諸外国の制度との違いを明らかにして説明できる。 ・国民の世論形成に影響を与えるマス・メディアの働きについて理解し、主体的な政治参加の基礎となるメディア・リテラシーを身に付ける。 ・日本国憲法に基づいて、基本的人権が永久不可侵の権利であることを理解し、明治憲法下における法律の留保規定と比較しながら、国家権力による人権不可侵の原則を説明できる。 ・法の支配とは、為政者による恣意的支配を排除し、合理的な議論に基づく統治を目指すものであることを理解し、法の支配と法治主義の違いを歴史的事実を踏まえて説明できる。

学習指導要領		調布北高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、国際政治の特質や国際紛争の諸要因について把握させ、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障が必要であることや、公正な裁判のためには司法権の独立が不可欠であることを説明できる。また、現行の司法制度改革における議論の内容と現状について、社会的背景を踏まえて説明できる。 ・ 自由や権利の行使に際しては、基本的人権の保障とともに、他者の権利や公共の利益との調和を図る必要があることについて、具体例を挙げて説明できる。 	
<p>(2) 現代の経済</p> <p>現代の日本経済及び世界経済の動向について関心を高め、日本経済のグローバル化をはじめとする経済生活の変化、現代経済の仕組みや機能について理解させるとともに、その特質を把握させ、経済についての基本的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦終結後の急速なグローバル化の進展について歴史的背景を踏まえて考察し、グローバル化のもたらす諸課題について説明できる。 ・ 人権、国家主権、領土などに関する現在の課題と背景について理解するとともに、その解決に向けた国際的な取組について説明できる。 ・ 旧ユーゴスラヴィアやコソボなどの事例を基に、人種・民族問題発生の背景や原因、近年の難民問題などについて考察し、紛争を回避するために必要な考え方や国際機関などの果たすべき役割について説明できる。 ・ 冷戦末期に戦略兵器削減条約や中距離核戦力全廃条約が締結されたことについて、その背景を理解する。また、化学兵器禁止条約やクラスター爆弾禁止条約の締結など、核兵器以外の分野における国際的な軍縮問題について説明できる。 ・ 冷戦期から冷戦後、現在に至るまでの国際社会の動向を踏まえて、地球規模の問題解決のためには様々なレベルでの国際協力が求められていることを理解し、食料の安定確保なども含む我が国の総合的な安全保障の重要性について、国際協調の立場から説明できる。 	
<p>ア 現代経済の仕組みと特質</p> <p>経済活動の意義、国内経済における家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業構造の変化や経済のグローバル化を通じて、戦後の資本主義経済がどのように変容してきたかについて、世界経済の動向を踏まえて説明できる。 	

学習指導要領	調布北高校 学カスタンダード
<p>の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済</p> <p>貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p> <p>(3) 現代社会の諸課題</p> <p>政治や経済などに関する基本的な理解を踏まえ、持続可能な社会の形成が求められる現代社会の諸課題を探究する活動を通して、望ましい解決の在り方について考察を深めさせる。</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題</p> <p>少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働を巡る問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市場における価格メカニズムについて、需要曲線と供給曲線のグラフを活用して説明できる。プライスリーダーや価格の下方硬直性などの言葉を使用して「市場の失敗」を理論的に説明できる。 ・ビルト・イン・スタビライザーやフィスカルポリシーなど、財政に関する理論を理解するとともに、日本の財政の現状について、財政健全化の必要性を踏まえて説明できる。 ・現代における金融の自由化やコール市場の発展について、先進国経済の動向を踏まえて説明できる。また、日本の金融の特徴について、他の先進国と比較しながら説明できる。 ・現在の我が国において、景気浮揚を図るために政府が行う経済政策について、具体例を示して説明できる。 ・国際経済の諸課題について、歴史的経緯を踏まえて考察し、南北問題などを解決するために国際機関や非政府組織が果たしてきた役割を整理した上で、今後の我が国に求められる経済協力の在り方について説明できる。 ・経済の国際化が急速に進展している背景について理解し、国際経済問題の解決には地球規模での連携が必要であることについて、具体例を挙げて説明できる。 ・国際的な自由貿易体制を維持・発展させることが世界経済の重要課題であることについて、その背景や影響とともに、地域経済統合や自由貿易協定などの用語を使用して説明できる。 ・少子高齢社会における雇用・労働問題について、経済社会の動向を踏まえ、ワーク・ライフ・バランスやワーク・シェアリングなどの考え方にも言及して説明できる。 ・日本の社会保障制度が抱える様々な課題について理解する。年金制度については、賦課方式と積立方式の違いを理解し、現在の日本の年金制度では、少子高齢化の進行に伴う世代間不公平や財源不足などの問題が生じる可能性が高いことについて説明できる。

学習指導要領	調布北高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題 地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済発展と環境保全を両立させるために、個人や企業が取り組むべき課題について、具体例を挙げて説明できる。 ・持続可能な社会の形成に主体的に参画する意欲をもち、現代社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、課題を探究できる。例えば、「現役世代と将来世代の関係」に着目し、現役世代が物質的な豊かさや社会保障の充実などを求めることが将来世代の負担につながりかねないことを自分の言葉で表現できる。